

2015年4月1日

**東急グループ代表 越村 敏昭(東京急行電鉄株式会社取締役会長)  
2015年度 東急グループ合同入社式メッセージ【要旨】**

東急グループ

1. 日 時 2015年4月1日(水)11:00～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区)
3. 内 容 2015年度東急グループ合同入社式における東急グループ代表・越村 敏昭(東京急行電鉄株式会社取締役会長)によるメッセージ(要旨)  
※東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催しています。  
○参加会社: 東京急行電鉄、東急不動産、東急コミュニティー、東急リバブル、東急建設、世紀東急工業、東急レクリエーション、東急百貨店、東急ストアなど47社  
○参加人数: 1,121人

**【東急グループの一員として認識すべき「安心」と「信頼」】**

東急グループは、「美しい時代へ」というスローガンの実現に向けて、交通事業を基盤とした街づくりに、不動産事業、生活サービス事業、ホテル・リゾート事業、建設事業など、お客様の生活に密着した幅広い分野で事業を展開しています。

本日より皆さんには、このように多岐にわたる事業の、大切な一部を担っていただきます。仕事に携わる上で、「安心」と「信頼」という2つのキーワードを心に留めていただきたいと思います。東急グループに対して、お客様や社会から寄せられる「安心」と「信頼」は、諸先輩方が長い年月をかけて築き上げたものです。時代とともに、お客様が求める商品やサービスは変わりますが、全ての事業の基盤が「安心」と「信頼」にあることは不変です。皆さん一人一人が、この「安心」と「信頼」を肝に銘じつつ、これから東急グループ社員として、社会的責任を果たしていただきたいと思います。

入社当初は、上司先輩の指導に従って、確実に業務を進めることから始まりますが、職場でのコミュニケーションを通じて、周りとの意思疎通を図り、のびのびと実力を発揮することを期待します。こうして磨かれるコミュニケーション能力や、情報やデータに基づく分析力、そして、最後までやり通す芯の強さは、今後困難な課題にぶつかったとき、大きな力となります。このような能力は、一朝一夕に身につくものではありません。成功や失敗を積み重ねながら培っていくものであり、こうした、いわゆる「人間力」を兼ね備えた人材が、将来の東急グループを切り開いていくこととなります。

我が国は、先進国でも前例のないスピードで進む少子高齢化と、それに伴う生産年齢人口の減少により、これまでの消費の拡大を前提としたビジネスモデルが見直しを迫られる、大きな変革期の中にあります。一方で、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、官民挙げての諸施策の推進もあり、訪日外国人客は年々増加を続けるなど、新たな市場が形成されつつあります。こうした時代の変化に的確に対応するためには、皆さんが「人間力」を培い、グローバルな視野に立って、新しい分野に挑戦していくことが大事です。

東急グループが、これまで蓄積してきた街づくりのノウハウを生かし、成長著しいベトナムや、インドネシアなどで、それぞれの国の発展の一翼を担う、新たな事業に挑戦しているのは、その一例です。

皆さんが、これからのかけがえのない人生を有意義に過ごし、大いに成長され、そのことが東急グループの成長にも繋がることを心より願っています。

以 上